



# やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

## とう ぼく ちゆう おう じ どう しゃ どう かん せい 東北中央自動車道に完成した くり こ 「栗子トンネル」は、 むりよう どうろ に ほん いち なが 無料の道路では日本一長い!



新しい栗子  
トンネルは  
4代目  
なんですって!

しゅだい くりこすいどう  
初代(右)と2代目(左)の栗子隧道

交通の難所だった栗子峠に、最初のトンネルが開通したのは明治14年です。長さ870メートルで馬車や人力車などが通れる程度でした。自動車が通行できるように改修されて2代目となり、昭和41年には国道13号に3代目が完成しました。山形県の誕生以来、栗子トンネルは首都圏と東北地方を結び、経済の発展に大きな役割を果たしています。

栗子峠は急勾配と急カーブが多く、大雪や大雨などの際、大型車の立ち往生や通行止めが起こり、大きな交通障害を起こしてきました。新トンネルは、できるだけ峠を登らずに、8972メートルものトンネルで山を貫いて道路を平坦にすることで、安全安心な高速交通を実現しました。



道路では東北最長、  
全国5番目の  
長いトンネルが、  
交通の不便を  
解消してくれるよ!

栗子トンネル米沢側出口の眺め  
出典：東北地方整備局山形河川国道事務所ホームページ



起伏の少ない  
道を通るから  
「あじうつ間」  
山を越えるよ!

開通した栗子トンネル

新トンネルの掘削は、平成26年3月の貫通まで約4年7カ月を要しました。暮らしに不可欠な高速道路であることから、国道と同様に国が主体となり、県も一部整備費を負担したので、無料で通行できます。山越えの負担が減少し、より便利で安全になったため、来訪者が増えています。



トンネルを  
抜け出た後の  
米沢市街の  
展望が美しい!

栗子トンネルについてお話をお聞きした  
うめつ ゆき やす  
梅津 幸保 さん  
れきし みちど ぼく い さん ぼんせい たい りん ほ そんかい かい ちゆう  
歴史の道土木遺産 萬世大路保存会 会長

最初の栗子トンネル(トンネル)は、初代県令の三島通庸が、山形県の発展を強く願って完成させました。新トンネルを通る時は、明治時代の偉業とその後のトンネルの歴史に思いをはせてみてください。

広告

